

半導体漫遊記

52

湯之上隆

静岡県島田市の大津小学校5年生を対象と賛成派が真つ二つに、1月22日、放射線の授業が行われた。小学生への放射線授業は、恐らく日本では、(もしかしたら世界でも)初の試みである。授業は公開され、島田市の小中学校の先生方や父兄などが参観に訪れた。私も参観させて

いただいた。

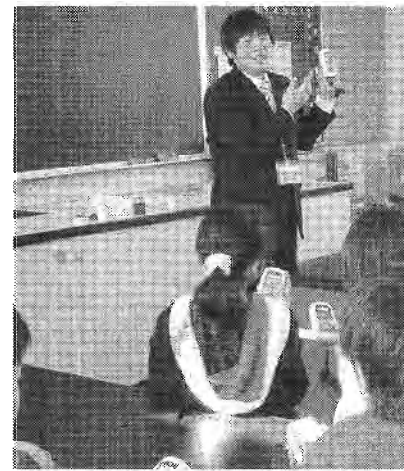
島田市、全小中校で授業

放射線、正しい知識を

静岡県島田市は、私が小中学校時代を過ごした故郷である。島田市は、2011年12月に、全国に先駆けて岩手県の震災がれき受け入れを表明した。しかし、がれきには微量のセシウムが付着してい

に中学の同窓生から連絡を受けて、この事態を知った。35年ぶりに島田を訪れ、市役所前で連日行われていた激しい反対運動を見た。私も賛成派も感情的に

そこで、回り道かも知れないが、島田市の学習指導要領の作成に全小中学校で放射線教育を行ったかどうかと提案したのである。島田市の教育長がこの提案を受け入れる決断をした。



静岡県島田市大津小学校5年生を対象に行われた放射線授業 (2013年1月22日)

今後、島田市では4年生以上の全ての小学校と中学校で放射線授業を行うことにしている。これを契機に島田市民に放射線の正しい知識が浸透することを期待している。(半導体技術者・社会科学者)

つ越そうと思う」と聞いて驚きを隠せなかった。私は京大原子核工学の修士課程を卒業した後、半導体技術者になった。したがって放射線の専門家ではないが、感情的に対立している大人たちに何を口八を学んだことか

を考えた。そしてあらかためて島田市役所を訪れ、一つの提案を行なった。騒動を鎮静化するには島田市民が放射線の正しい知識を持つ以外に方法は無い。そして何が起きるかなどについて講演した。これをきっかけに、理科の先生が中心となって放

中を考えた。そしてあらかためて島田市役所を訪れ、一つの提案を行なった。騒動を鎮静化するには島田市民が放射線の正しい知識を持つ以外に方法は無い。そして何が起きるかなどについて講演した。これをきっかけに、理科の先生が中心となって放

女性教師が、その初のモデル授業を担当した。そして、今年2013年1月22日、小学校5年生への放射線授業が実現した。授業で「はかるくん」を手渡してカリウム肥料、御影石、船底塗料の線量を測定し、ちょっと放射線が出ているけれど人体には問題のない線量であることを学んだ。

先生たちは食い入るように先生の話を聞き、「はかるくん」の測定に夢中になっていたことが印象的だった。

「はかるくん」を手渡してカリウム肥料、御影石、船底塗料の線量を測定し、ちょっと放射線が出ているけれど人体には問題のない線量であることを学んだ。